

ペアトレと環境作り

第1回 脳の成長によい環境と悪い環境

今回からテーマをより実践的なことにしてみました。
ぜひ、これを読んでいるその日から活用してみてください。

第1回目は ベース作りのよい悪いについてお話ししたいと思います。

●脳の成長によい環境とは？

↓

環境の3原則

- ① 「子どもが健全なことをまねしやすい環境であること」
- ② 「子どもが状況を理解できること」
- ③ 「子どもが行動すること」が徹底されていること

*脳がまだ不十分に発達していない子どもほど

環境の力は絶大!!

*環境によって脳が動かされている割合が大!!

*親子のコミュニケーション=環境の大きな要素を占める

重要ポイント!!

*環境の良し悪し=周りの大人の接し方次第!!

↓ ↓

理解して行動することは、脳全体をきちんと使うことを意味し、
子どもがぐんぐん成長する秘訣となります。

●子どもの脳は真似が大好き

- ・子どもは無意識に物真似をしています

↓

親子のコミュニケーションは言葉を介さなくても
物真似で成立しています。

- ・子どもの理解を確かめ

1つひとつ会話を進め

時間がかかっても

最後まで子ども自身に行動させる

↓

「習慣化」「よい環境の条件」

●脳が伸びにくい悪い環境

- ・理解が進まない

行動を活発に行わない環境

↓

脳の成長力低下

- ・コミュニケーションの質の原因

*過度に叱りつけて自信を失わせる

*投げやりな態度や消極的な態度をとらせる

*親子で口論を繰り返すことで過度に反抗的にさせる

*親がやりすぎる

●脳の成長によい環境

- ①子どもの話をじっくり聞く人がいる。
- ②子どもが分かるように話す人がいる。
- ④ 褒められ、成功体験を積んでいる。
- ⑤ 失敗を落ち着いて論ずる人がいる。

●脳の成長に悪い環境

- ①いつも怒られている。
- ②いつもせかされている。
- ③言ったことをいつも否定されている。
- ④最後まで自分で行動していない。
- ⑥ 子どもがよく怒ったり、親と言い合いをしている。

今回の内容をまとめてみると・・・

普段から良好なお親子のコミュニケーションを築いておくことが、
子どもの行動をスムーズに促すことにつながります。

また、何事も急がず、ゆったりと構えて接しましょう。
子どもの脳の処理速度は大人よりとてもゆっくりです。
そのスピードに合わせることで
うまく子どもとコミュニケーションがとれているコツと思います。

ぜひペアトレを行う時の
ご自身の接し方、コミュニケーションの取り方を
振り返ってみてください。

子どもは親の背中、行動を見ていますよ。

参考・引用文献：発達障害の子どもを伸ばす 脳番地トレーニング
加藤俊徳著